

## 第5学年 社会科学学習指導案

平成22年〇月〇日（ ）第〇校時

指導学級 5年〇組

指導教諭 〇〇 〇〇

### 1 小単元名 「工業生産と工業地域」

### 2 小単元の目標

我が国の各種の工業生産や工業地域の分布を調べることを通して、工業生産が国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えるようにする。

### 3 小単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
我が国の工業生産の様子や工業地域の分布に関心をもち、意欲的に調べようとしている。	我が国の工業生産の様子や工業地域の分布から学習問題を見出し、国民生活を支える我が国の工業生産の特色を考えている。	我が国の各種の工業生産や工業地域の分布などを、地図や統計などの資料を活用して具体的に調べ表現している。	我が国の各種の工業生産や工業地域の分布を理解している。

### 4 指導にあたって

#### (1) 小単元について

本小単元は、学習指導要領第5学年の2内容(3)イを受けて設定された単元である。ここでは、「我が国の各種の工業生産や工業地域の分布などを調べ、我が国の工業生産は国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えることができるようにすること」がねらいとされている。

我が国は、日清戦争・日露戦争・第一次世界大戦を経て産業革命を達成した。さらに、政府の高度経済成長政策により重化学工業が目覚ましい発展を遂げ、世界でも有数の工業国となった。これまでは中京、京浜、阪神、北九州の四大工業地帯が主な工業地帯であったが、近年は北九州を除く三大工業地帯が中心となっている。その他の工業地域では、瀬戸内工業地域、北関東工業地域などがある。我が国の工業の特色として、まず海沿いに工場が集中していることがあげられる。我が国は鉱産資源に乏しく、原料資源を海外から輸入している。そのため、特に太平洋側の海沿いに工業地域が集中して形成された。次に、大工場に比べ中小工場は労働生産性や賃金に格差があることがあげられる。しかし、近年では特殊な技術をもつ中小工場も見られるようになってきた。

本小単元では、分布図や統計資料を活用し、我が国の主な工業生産の種類、工業地帯や主な工業地域の分布などを取り上げ、我が国全体の工業生産の現状や特色を具体的に調べることを通して、工業生産が国民生活を支える重要な役割を果たしていることが考えられるようにしたい。

#### (2) 児童について（男子〇〇名 女子〇〇名 合計〇〇名）

この小単元を指導するにあたって、学習についての意識をとらえるために、次の項目でアンケートを行い調査してみた。

#### ① あなたは、社会科が好きですか。

好き 〇〇人	どちらかというが好き 〇〇人	どちらかというが好きではない 〇〇人	好きではない 〇〇人
-----------	-------------------	-----------------------	---------------

「好き、どちらかと言えば好き」な理由としては、「大人になってから役立ちそう」「調べるのが好き」などと答えている。一方「嫌い、どちらかと言えば嫌い」な理由としては、「調べるのが嫌い」「意味が分からないしつまらない」と答える児童が多かった。

#### ② あなたは、社会科の時間の中で、教科書・資料集などで調べる学習は好きですか。

好き 〇〇人	どちらかというが好き 〇〇人	どちらかというが好きではない 〇〇人	好きではない 〇〇人
-----------	-------------------	-----------------------	---------------

「好き、どちらかと言えば好き」と答えた児童は、「知らなかったことが分かる」「発見がある」といった理由をあげている。「どちらかというとは好きではない、好きではない」とした児童は、「どこをどう調べていいかわからない」「探すのが大変」などと答えている。社会科を苦手とする大きな理由の一つとして、調べる学習に難しさを感じている様子が分かる。

③ あなたは、社会科の時間の中で、友達と話し合う学習が好きですか。

好き 〇〇人	どちらかというとは好き 〇〇人	どちらかというとは好きではない 〇〇人	好きではない 〇〇人
-----------	--------------------	------------------------	---------------

話し合う学習について「好き、どちらかと言えば好き」とした理由は、「自分の意見を言える」「自分が思っていた以外に友達が違うことを考えていたりして楽しい」といったものが多く、苦手とした理由は、「まだちゃんと分かっていないのに話すとは分からなくなる」「コミュニケーションがうまくとれない」をあげていた。学級全体としては話し合う活動を大変好意的にとらえており、調べる学習を苦手とする児童の多くが話し合う学習については「好き、どちらかというとは好き」と答えている。その理由を見ると、友達の意見を聞くことによって考え方を学んだり、互いに話し合うことによってより理解深めたりしていること分かる。このことから、調べ学習を苦手としている児童にとっては、話し合うことによって知識や考え方を共有する場面がとても大切だということが言える。

(3) 指導にあたって

本小単元では、分布図や統計資料を活用して情報を読み取る機会が多くなる。しかし、分布図や統計資料は難しくて分からないなどの理由で、児童が関心をもちにくい。また我が国全体の工業生産の現状や特色を調べる学習のため、児童にとってなじみが薄く、調べてみたいという意欲が起きにくいことが予想される。そこで、問題解決型の学習過程において次のような手だてを講じていくこととした。

①児童が調べたいと思うような学習問題を作るために

- ・ 身近な地域素材の活用

給食にも出されている地域の食料品工場を例に、工場の立地条件を考えさせることを通して、日本全体の工業生産の様子や工業地域の分布についての学習問題を作ることができるようにする。

- ・ 資料提示の工夫

VTR を提示する前に話の内容を予想させたり、資料を提示する前に書いてあることを予想させたりすることで、資料に着目させ、課題意識をもたせるようにする。

②調べ活動を行うために

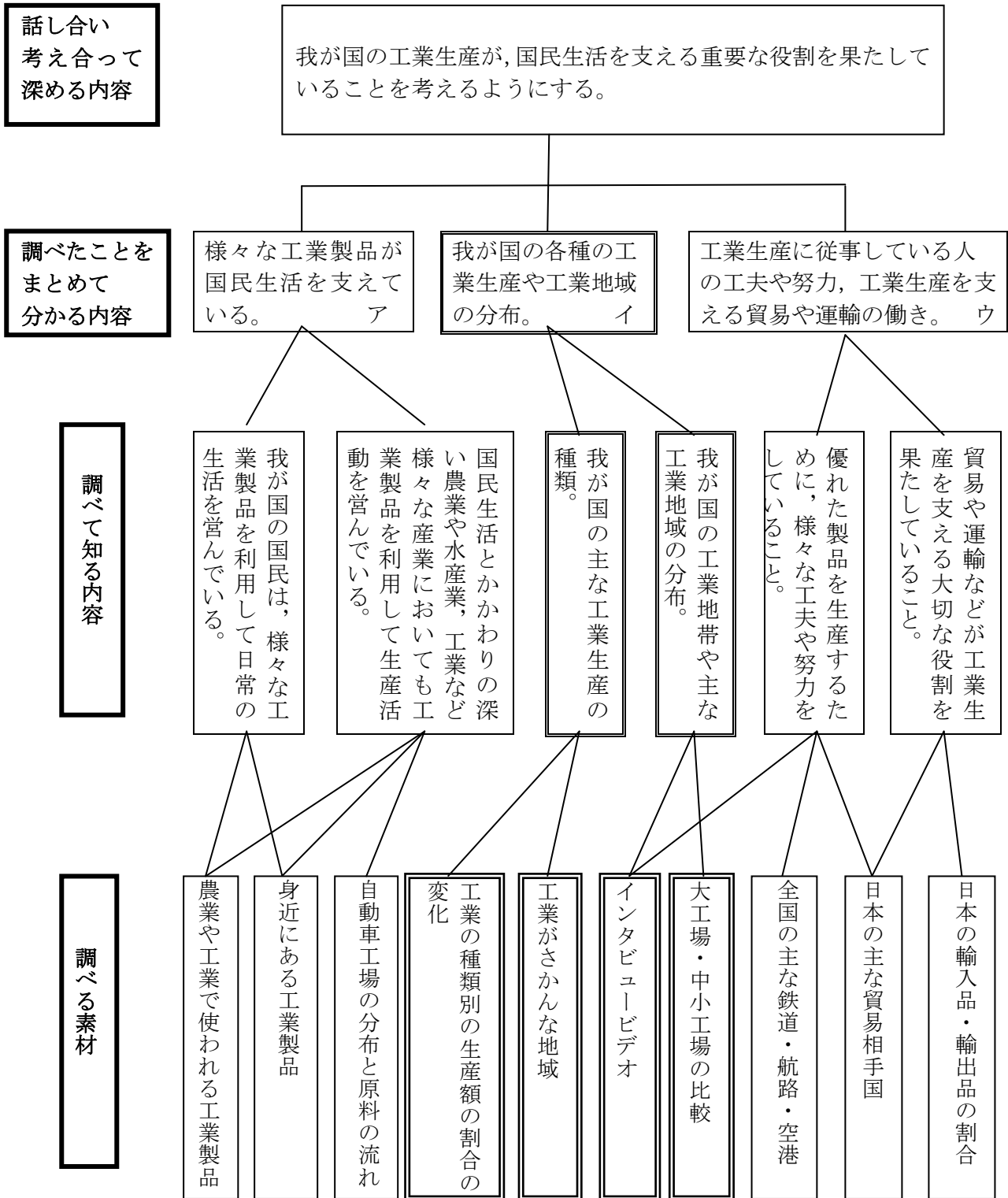
- ・ 地図帳や統計資料活用の工夫

工業地帯・地域の分布図は児童が関心をもちにくいことが予想される。そこで、地図帳を用いて工業製品の分布図を自分たちが作ることにし、実感をもって資料を読み取ることができるようにする。

- ・ 調べる前に予想を立てさせることで、そこから視点を明らかにし、調べる内容を明確にさせる。

③社会的な意味が分かるような調べ活動を行うために

- ・ 児童が自分たちで作った工業生産と工業地域を表すマップに、説明文を加えることで、工業生産の現状や特色をつかませる。



6 小単元の指導計画 6時間扱い

段階	学習活動（・子供の反応）	○ 教師の働きかけ	評価	資料・準備物
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">問 い を 見 つ け る</p>	<p>1 身のまわりの工業製品を分類し宮城県の工業に関心をもつ。</p> <p>(1) 工業製品を分類し、工業の種類を知る。</p> <p>(2) 宮城県の工業にはどのようなものがあるかに関心をもつ。</p>	<p>○様々な工業製品を、金属工業、機械工業、石油化学工業、食料品工業、繊維工業、印刷工業、その他に分類する。</p> <p>○地図帳で、宮城県ではどのようなものが作られているか探させることで、宮城県の工業に関心をもたせる。</p> <p>○ 地図帳の見方は教える。</p>		<p>・実物</p> <p>・地図帳</p> <p>・工業の種類別の生産額の割合の変化</p>
	<p>2 宮城県の食品工業に携わる人々の様子から、学習課題をつくる。</p> <p>(1) 宮城県の食料品工業の製品製造における工夫や努力を知り、工場立地の理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原料を手に入れやすいところ</li> <li>・高速道路が近いところ</li> </ul> <p>(2) 日本全体では、工業のさかんなところはどのような場所なのか予想し、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海の近く</li> <li>・人口の多いところ</li> </ul> <p>(3) 話し合ったことをもとに、日本全体の工業生産の特色や工業地域の広がりについての学習問題を立てる。</p>	<p>○ 製品を作るための工夫や努力をつかませる。</p> <p>○ 地図帳や立体地図などから、立地の理由を予想させる。</p> <p>○ 食料品以外の工業製品だとどんな場所に工場を建てたらいいか考えさせる。</p> <p>○ 児童の予想の中から言葉を選びながら、できるだけ児童の言葉で学習課題を作る。</p>	<p>関心・意欲・態度【発言・活動の様子】 工業の種類や宮城県の工業生産の様子に関心を持ち、話し合いに積極的に参加している。</p>	<p>・宮城県の製造品出荷額</p> <p>・インタビュービデオ</p>
	<p>学習問題</p> <p>どのような場所で、どんな工業がさかんなのだろう。</p>			

段 階	学習活動（○→内容、・→子供の反応）	○ 教師の働きかけ <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">評価</span>	資料・準備物	
問 い を 深 め る	調 べ	<p>3 日本全体では、どんな場所 所でどんな工業がさかん なのか調べる。</p> <p>(1) 地図帳の工業製品記号 を調べ、印をつける。</p> <p>(2) 調べた工業製品記号を 学級で1枚の地図にまと めていく。</p> <p>4 日本の工業地帯・工業地 域の広がりにはどのような 特色があるか知る。</p>	<p>○黒板に地図を掲示し、児童が調べ た工業製品を絵記号で貼らせる。</p> <p>○気が付いたことや考えたことを ノートにメモしておくよう指示 する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <b>技・表【活動の様子・ノート】</b>            資料を活用し、調べている。         </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図帳</li> <li>・高速道路網</li> <li>・掲示用地図</li> <li>・工業製品の 絵記号</li> </ul>
	考 え る	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">           日本の工業地帯・工業地域の広がりにはどのような特色 があるのだろう。         </div> <p>(1) 地図を見て、気が付い たことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海沿いに工場が多い。</li> <li>・工場は一定の地域にかた まっている。</li> </ul> <p>(2) どんな工業がどの地域 でさかんなのか、調べた ことをまとめる。</p>	<p>○工業のさかんな地域の特色につ いて分かったことを発表させる。</p> <p>○ 3 大工業地帯や工業地域の名称 をおさえる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <b>知・理【活動の様子・発言・ノート】</b>            我が国の各種の工業生産や工業 地域の分布が分かる。         </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の業種 別工場数</li> <li>・工業地域の 分布図</li> <li>・工業がさか んな地域</li> </ul>
深 め つ な げ る	深 め	<p>5 日本の工業の特色につい て調べ、考える。</p> <p>(1) 大工場と中小工場の写 真資料を見比べ、気づい たことを話し合う。</p> <p>(2) 統計資料から、日本の 工業の特色を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大工場は工場数が少ない が生産額は大きい。</li> </ul>	<p>○ 写真資料を見比べることで、大 工場と中小工場が生産する製品 が異なることをつかめるように する。</p> <p>○ 大工場と中小工場の工場数およ び生産額を比べた統計資料を比 べさせる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <b>思・判【発言・ノート】</b>            我が国の工業の特色やそれぞ れの工場の役割を考えている。         </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真資料</li> <li>・大工場、中 小工場の様 子</li> <li>・大工場と中 小工場の比 較</li> </ul>
	つ な げ る	<p>6 「工業生産と工業地域」 マップを作り、学習のまと めをする。</p>	<p>○ 3～4時で作った工業生産と工業 地域を表すマップに、説明文を 加えることで、工業生産の現状 や特色をつかませる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <b>知識・理解【発言・説明文】</b>            我が国の工業生産の特色や工 業地域の分布を理解している。         </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工業生産と 工業地域を 示した地図</li> </ul>

7 本時の指導 2 / 6 時間

(1) ねらい・・・インタビューをもとに、工場がどんな場所に建てられているか考える。

(2) 指導過程

学習活動（・子供の反応）	指導上の留意点 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block;">主な評価規準（方法）</div>	資料
<p>(1) 宮城県の食料品工業の製品製造における工夫や努力を知り、工場立地の理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おいしい水のあるところ</li> <li>・高速道路が近いところ</li> </ul> <p>(2) 日本全体では、工業のさかんなところはどのような場所なのか予想し、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海の近く</li> <li>・空港のあるところ</li> <li>・人口の多いところ</li> <li>・製品によってさかんな地域が違うのではないか。</li> </ul> <p>(3) 話し合ったことをもとに、日本全体の工業地域の広がりについて学習課題を立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 20px; width: fit-content;"> <p>学習問題                      どのような場所で、どんな工業がさかんなのだろう</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 宮城県では食料品工業がさかんであることを円グラフでおさえる。</li> <li>○ インタビュービデオから、製品にこめられた作り手の努力や願いを理解させる。</li> <li>○ 新しい工場の場所を教え、地図帳や立体地図などから、立地の理由を考える。その際、「原料、輸送、働き手、土地」をキーワードとしてまとめる。</li> <li>○ 地域の食料品工業の工場立地の理由と比較して、自動車だとどんな場所がいいか、高速道路さえあればいいのかなどについて話しあわせることで、製品によって工場の場所が異なるのではないかという考えを引き出す。</li> <li>○ 児童の予想の中から言葉を選びながら、できるだけ児童の言葉で学習課題を板書する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>思考・判断【発言・ノート】                      インタビューをもとに、積極的に話し合いに参加し、学習問題を見出している。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮城県の製造品出荷額を示す円グラフ</li> <li>・インタビュービデオ</li> <li>・実物</li> </ul>

テレビで

- ① 宮城県の製品出荷額を表す円グラフ
- ② インタビュービデオ（動画）

めあて 学習問題を決めよう

工場立地の理由

- ・原料を確保しやすい場所
- ・高速道路が近い
- ・働く人がいる
- ・広い土地がある

日本全体では、どんな場所でどんな工業がさかんなのか、調べてみよう。